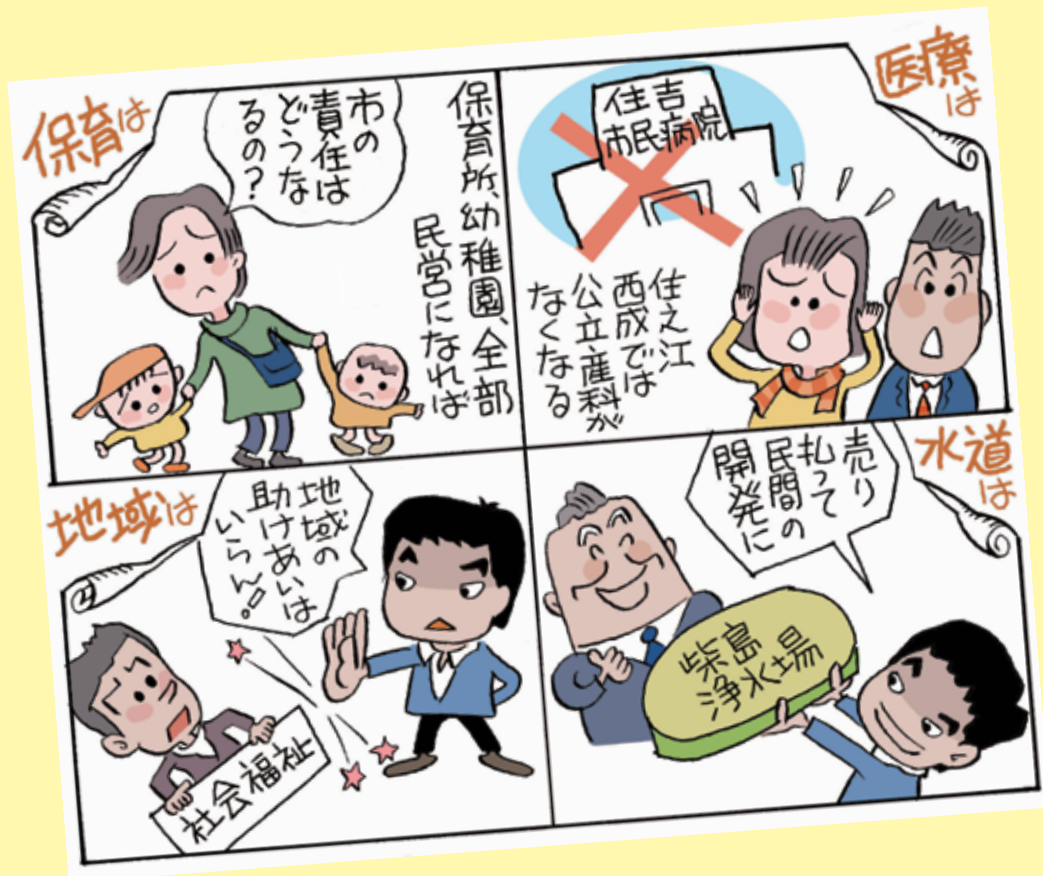


くらしは？ 福祉は？

「大阪都」で「住民サービスはよくなる」といいますが、逆に「大阪市」がなくなれば、くらしをささえる財源も権限も奪われてしまいます。

大阪市主催の「住民説明会」で、大都市局が「住民サービスをこのように充実する」というような内容は協定書に記載していない」と説明しています。



特別区は、大阪府の「従属団体」になり、市民サービスは下がります！

大阪市が解体され、5つの「特別区」になると、**直接入る税収が今の4分の1に激減し、市民サービスが制約されます。**橋下市長は「いまのサービス水準を維持する」と言いますが、大阪府から受け取る「交付金」頼みの「従属団体」となり、市民サービスの低下は避けられません。

国保料が値上げされ、介護保険の減免制度がなくなり

国民健康保険、介護保険、ごみ、水道などの仕事は「特別区」でなく、もう一つの役所（一部事務組合）を作ってすすめる計画です。**大阪市が国保料の負担軽減のために出していた予算がなくなり、一人あたり年間2万3千円も値上げされ、介護保険の減免制度もなくなる危険があります。**

今度のやり方も、ええんですか？

4年前の市長選挙で「大阪市をバラバラにしません」「敬老パスは維持します」といいながら、公約を破り捨てた橋下市長。

今度の「大阪都」の設計図づくりでは、野党委員をすべて排除して、「維新の会」委員だけで「決定」。

それが昨秋、市議会・府議会で否決されると、官邸頼みの「闇取引」でよみがえらせました。

こんなやり方で「大阪市」をなくすなんて許されるでしょうか。

橋下さん
忘れてませんよ、
公約違反ですね！

